

シリーズ5

日本の実力者たち（1）

歴史には政治史、外交史、文化史、経済史、制度史、社会史、女性史などの分野がありますが、なんと言っても中心になるのは、政治史でしょう。そして、政治史の中心は「誰が権力を握っていたか？」「どこに政治の中心があったか？」「権力構造の特徴は何か？」ということになります。

教科書などの記述も基本的には政治史が中心ですから、どうしても「権力の所在」「権力の特徴」などをきちんとおさえているかどうか問われることになります。

ですから、今回のシリーズでは、入試によく出てくる「天皇」「藤原氏」「北条氏」「足利氏」「徳川氏」などの権力を握った実力者たちをまとめていきます。

いつものように、インプット用として使うもよし、アウトプット用として使うもよし。使えるものは有効に使ってください。

まずは初回です。古代においては天皇（上皇）の名前やその業績などをきちんと理解しておく必要があります。もちろん、古代においては藤原氏の存在が非常に大きいのですが、まずは天皇をおさえていきましょう。

奈良時代より前の天皇＝12人

- (1) 応神天皇系の子孫の断絶後、越前から迎えられて即位した天皇で、任那四県の割譲や磐井の乱が起きたときの天皇。
- (2) 仏教の公伝や任那が滅亡したときの天皇。
- (3) 592年に蘇我馬子によって暗殺された天皇。
- (4) 日本最初の女帝で、聖徳太子を摂政に任命した天皇。蘇我馬子の姪にあたる。
- (5) 中大兄皇子・大海人皇子の父で、初めての遣唐使を派遣した天皇。
- (6) 645年の乙巳の政変当時の天皇で、この事件後に退位した天皇。天智・天武の母。
- (7) 645年の乙巳の政変の後に即位し、都を難波長柄豊碓宮へ移した天皇。
- (8) (6) が重祚した天皇で、百濟滅亡のため朝倉宮に駐留し、そこで亡くなった天皇。
- (9) 667年に大津宮に遷都した後、中大兄皇子が即位した天皇。
- (10) 672年の壬申の乱に勝利して飛鳥浄御原宮で即位した天皇。
- (11) (10) の皇后で、694年に藤原京に遷都した天皇。
- (12) 701年、大宝律令ができたときの天皇。

(1) 継体天皇	(2) 欽明天皇	(3) 崇峻天皇	(4) 推古天皇
(5) 舒明天皇	(6) 皇極天皇	(7) 孝徳天皇	(8) 斉明天皇
(9) 天智天皇	(10) 天武天皇	(11) 持統天皇	(12) 文武天皇

奈良・平安時代の天皇・上皇＝20人

- (1) 草壁皇子の皇后で、文武・元正天皇の母になる天皇。708年には和同開珎を鑄造し、710年に平城京に遷都した天皇。
- (2) 草壁皇子の娘で、母が(1)である。718年に養老律令、723年には三世一身法を制定した時の天皇。
- (3) 藤原不比等の娘宮子が生んだ奈良時代の最初の男性の天皇で、大仏造立や国分寺建を立した天皇。
- (4) (3)の天皇と光明子の娘で、大仏開眼供養を752年に行った天皇。
- (5) 万年通宝をつくり、藤原仲麻呂の乱で孝謙上皇に廃され淡路へ流された天皇。
- (6) (4)が重祚した天皇で、道鏡を重用した天皇。
- (7) (6)の死後、770年に即位した天智天皇の孫になる天皇。
- (8) (7)の子で、794年に平安京に遷都し、勘解由使・健児の制などを設置した天皇。
- (9) (8)の子で、810年の薬子の変の時の天皇で、蔵人や検非違使を設置し、弘仁格式を制定させた天皇。
- (10) 藤原良房が皇族以外で初めて摂政になったときの幼少の天皇で、貞観格式を制定させた天皇。
- (11) 884年に藤原基経が(実質的に)関白になった時の天皇。
- (12) 888年に阿衡事件が起きたときの天皇で、遣唐使を廃止した菅原道真を重用した。天皇親政の寛平の治を行った天皇。
- (13) 菅原道真を大宰府に左遷させた(昌泰の変)天皇で、延喜の荘園整理令や延喜格式をつくらせるなど天皇親政の延喜の治を行った。
- (14) (13)の子で、承平・天慶の乱が起きたときの天皇。
- (15) (13)の子で、958年に本朝十二銭の最後となる乾元通宝をつくるなど天皇親政の天暦の治を行った天皇。
- (16) 藤原氏と外戚関係がなく、天皇親政を行った。1069年に延久の荘園整理令を出し、記録荘園券契所を設置したり、延久の宣旨柁をつくらせたりした天皇。白河天皇の父。
- (17) 1086年に子の堀河天皇に譲位し、院政を開始した天皇で、上皇として造寺造仏に濫費を尽くし、北面の武士を設置した。
- (18) 堀河天皇の子で、(17)に続き院政を行った上皇(法皇)。
- (19) 保元の乱で兄崇徳上皇を配流し、二条天皇に譲位したあと院政を行った上皇で、平清盛と対立して幽閉され、一時的に院政が停止された上皇。
- (20) 後白河天皇の子である高倉天皇と平清盛の娘徳子の間に生まれた天皇で、壇ノ浦で入水自殺した天皇。

- | | | | |
|----------------|---------------|-----------|-----------|
| (1) 元明天皇 | (2) 元正天皇 | (3) 聖武天皇 | (4) 孝謙天皇 |
| (5) 淳仁天皇 | (6) 称徳天皇 | (7) 光仁天皇 | (8) 桓武天皇 |
| (9) 嵯峨天皇 | (10) 清和天皇 | (11) 光孝天皇 | (12) 宇多天皇 |
| (13) 醍醐天皇 | (14) 朱雀天皇 | (15) 村上天皇 | |
| (16) 後三条天皇 | (17) 白河天皇(上皇) | (18) 鳥羽上皇 | |
| (19) 後白河天皇(上皇) | (20) 安徳天皇 | | |

※番外編

現天皇は125代目ですが、「初代」の天皇は誰でしょうか？ 2月11日は「建国記念の日」(以前は「紀元節」と言われていました)であり、この日にその天皇が即位したとされます。教科書では1955～57年の好景気を「〇〇景気」と呼び、「もはや戦後ではない」と日本経済の復興を表現する際に使ったりします。……………そう、「初代」天皇は「神武天皇」でしたね。

※このシリーズは、山川出版社の『日本史B用語集』を参考にさせていただきました。